



最優秀グッドアイデア賞を受賞 DXでつなぐ産・官・学の分野を超えた連携が評価

11月11日、市は、マニフェスト大賞実行委員会が実施する第17回マニフェスト大賞において最優秀グッドアイデア賞を受賞した。受賞した取り組みは、昨年度に実施した、子ども食堂と食材寄附者をDXでつなぐ「子ども食堂DX実証実験」で、全国の子ども食堂に共通する社会的課題に対し、産・官・学の分野を超えた多くの事業者・団体がステークホルダーとして関わったプロジェクトとして評価された。同日、東京で開催された授賞式において表彰状とトロフィーを受け取った。

★マニフェスト大賞は2006年に政策本位の政治を目指し、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し表彰することで、「善政競争」の輪を拓けることを目的に創設された賞。17回目となる今回は、議員、自治体、市民団体等から3,133件の応募があった。北川正恭氏（早稲田大学名誉教授）を審査委員長とした各分野の有識者で構成された審査委員会により「ローカル・マニフェスト大賞」「議会改革賞」「成果賞」「グッドアイデア賞」「コミュニケーション戦略賞」「躍進賞」など全8部門で構成される。今回は、各賞ごとに5つの優秀賞が選ばれ、その中から最優秀賞（躍進賞は最優秀賞なし）が選ばれた。



▲11月11日に東京都で開催された授賞式の様子。

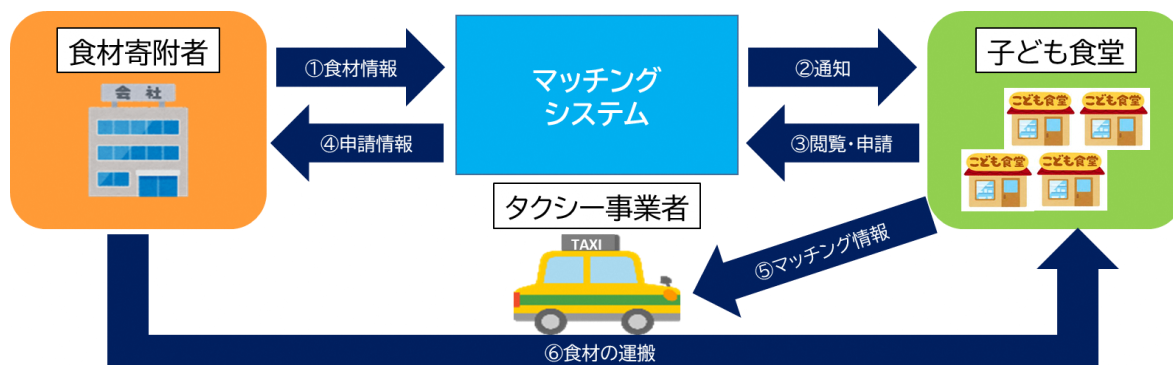


▲マニフェスト大賞のロゴマーク。

★「グッドアイデア賞」は、新規性や創造性にとんだ優れたアイデアや政策提言等を表彰する賞。

★近年、社会的関心の高まりを受け、企業や個人から子ども食堂への食材等の寄附の申し出は増加傾向にあるが、寄附食材と子ども食堂とのマッチングや食材の配送は全国の子ども食堂の共通課題となっている。本取り組みでは「DX」と「タクシーの活用」によるこれまでにない新たな子ども食堂の運営支援の可能性を検証するため、国・地方自治体・民間企業・NPO法人・大学が参画するプロジェクトチームによる実証実験を行った。

★実証実験の流れ



★食材の運搬費用に寄附を活用

食材の運搬費用は、連携事業者である株式会社ワイヤレスゲートの社会貢献型の通信サービス「こども食堂応援 Wi-Fi for 枚方市」の契約者からの寄附金を原資とする NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ（理事長：湯浅誠さん）の基金を活用するため、子ども食堂の費用負担はなし。

★実証実験を通して、寄附食材の情報をリアルタイムで個人のスマホから確認できることのわかりやすさや、子ども食堂が受領を希望した食材がタクシーにより指定した日時・場所に届くことの有用性を確認。一方で、子ども食堂の費用負担ではないものの食材配送費を支払うことに違和感があるという意見や寄附食材のウェブサイトへの登録作業の煩雑さといった課題も明らかになった。



▲今年2月に実施した実証実験の様子。

★本実証実験は昨年度で終了しているが、市は引き続き、子ども食堂運営支援の新たな可能性を検討するため、現在、本市公民連携プラットフォームにおける取り組みとして、「子ども食堂 DX 実証実験」のテーマで連携する民間事業者を募集している。

<お問い合わせ>

子ども未来部 子ども青少年政策課 ☎ 841-1375 FAX 843-2244